

# 平成30年度 河川管理レポート

平成31年4月19日

金沢河川国道事務所  
河川管理課

## 1. 河川維持管理

- 1-1 河川巡視
- 1-2 重要水防箇所 巡視点検
- 1-3 安全利用点検
- 1-4 出水期前の堤防点検
- 1-5 許可工作物 立入検査
- 1-6 雨量・水位観測所点検
- 1-7 堤防除草
- 1-8 河道内樹木伐採
- 1-9 樹木の伐採希望者を公募
- 1-10 伐採木を無償配布

## 2. 水防演習・訓練

- 2-1 洪水対応演習
- 2-2 手取川・梯川総合水防演習
- 2-3 災害対策車、排水機場の訓練
- 2-4 水質事故対応訓練

## 3. 水質・環境保全

- 3-1 河川水質調査
- 3-2 水生生物調査
- 3-3 河川清掃活動
- 3-4 河川ごみマップ公表
- 3-5 河川愛護モニター
- 3-6 河川協力団体の活動
- 3-7 多くの方に川をPR
- 3-8 重点的撤去区域



手取川扇状地

# 1. 河川維持管理

# 1-1 河川巡視 ～パトロールを定期的を実施～

当事務所が管理する手取川、梯川で定期的にパトロールを実施しています。夜間巡視も行っています。河川施設（堤防、水門等）点検、不法投棄や違法工作物の早期発見、河川利用状況や動植物に関する情報も収集しています。

一般巡視：1月～2月 週1回  
3月～12月 週2回以上  
目的別巡視：夜間巡視 月2回、河川施設点検 随時  
出水時点検：氾濫注意水位以上を観測した後  
臨時点検：震度4以上の地震後  
◇平成30年度 実施回数（一河川当たり）  
一般巡視 103回（目的別巡視含む）、夜間・土日巡視 24回

## 【手取川】 管理延長：17.3km



一般巡視(定期パトロール)



目的別巡視(ゴミ不法投棄)



目的別巡視(堤防侵食)

## 【梯川】 管理延長：12.4km



一般巡視(堤防、河口付近)



目的別巡視(護岸点検)



目的別巡視(水門点検)

# 1-2 重要水防箇所 巡視点検 ～ 洪水に備え、水防関係者による点検 ～

水防連絡会 ※1では、重要水防箇所の点検や水防資材備蓄状況の確認を毎年、行っています。水防活動を円滑に行うため、堤防高や堤防断面不足、水衝部等の確認をします。国や自治体の水防倉庫内の資材備蓄状況も点検します。

## ◇実施結果

手取川：平成30年6月6日実施 参加者 52名  
 梯川：平成30年6月6日実施 参加者 52名



堤防高不足箇所 手取川左岸1.0km付近



辰口ナビゲーションセンター(手取川)



堤防高不足箇所 梯川左岸7.6 km付近



佐々木町資材倉庫(梯川)

### 重要水防箇所とは・・・

「重要水防箇所」とは、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所をいいます。重要水防箇所には、**A:水防上最も重要な区間**、**B:水防上重要な区間**、**要注意区間**の3ランクがあり、堤防の高さや洪水流下のための断面、堤防からの漏水等の観点から指定されます。

<h4>堤防高</h4> <p>Aランク・・・計画高水流量規模の水位が現況の堤防高を超える箇所。                  Bランク・・・計画高水流量の水位と現況の堤防高との差が、計画の余裕高に満たない箇所。</p>	<h4>水衝・洗掘</h4> <p>Aランク・・・堤防前面の河床が深掘れしている、橋脚の取り付け部等が破損している箇所等のうち、何らかの対策もとられていない箇所。                  Bランク・・・堤防前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているものの、その対策がとられていない箇所。</p>
<h4>堤防断面</h4> <p>Aランク・・・計画堤防断面の1/2に満たない箇所、あるいは現況の堤防天端幅が計画で定めた天端幅の1/2に満たない箇所。                  Bランク・・・計画堤防断面に不足しているが1/2以上確保されている箇所。</p>	<h4>工作物</h4> <p>Aランク・・・改善措置が必要な河川工作物（堰、橋梁、樋管等）が設置されている箇所、または河川を横断する構造物の桁下が、計画で定められている流量が流れたときの河川水位よりも低い箇所。                  Bランク・・・河川を横断する構造物の桁下高と、計画で定められている流量が流れたときの差が、計画の余裕高に満たない箇所。</p>
<h4>法崩れ・すべり</h4> <p>Aランク・・・法崩れまたはすべりの実績があり、その対策がとられていない箇所。                  Bランク・・・法崩れまたはすべりの実績があり、その対策が暫定的にとられている箇所。また地盤の土質等から法崩れ、すべりが発生する恐れがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。</p>	<h4>工事施工</h4> <p>要 注 意・・・出水期間中に堤防工事等を行う箇所。</p>
<h4>漏水</h4> <p>Aランク・・・漏水の実績があり、その対策がとられていない箇所。                  Bランク・・・漏水の実績があり、その対策が暫定的にとられている箇所。また、かつて破損した箇所等、漏水の発生する可能性がある箇所で、所要の対策がとられていない箇所。</p>	<h4>新堤防・破堤後・旧川跡</h4> <p>要 注 意・・・新規に施工された堤防で、築造後三年に満たない箇所。また破堤実績がある箇所や旧川跡。</p>
	<h4>陸 間</h4> <p>要 注 意・・・陸間が設置されている箇所。</p>

※1 手取川・梯川・石川海岸水防連絡会 加盟団体 20機関  
 小松市、白山市、加賀市、能美市、野々市市、川北町、石川県 土木部河川課、危機管理監室危機対策課、農林水産部森林管理課、農林水産部水産課、南加賀農林総合事務所、石川農林総合事務所、南加賀土木総合事務所、石川土木総合事務所 北陸電力(株)、電源開発(株)、日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所

# 1-3 安全利用点検 ～ 河川施設を安全に利用するための点検 ～

河川は誰でも利用可能で“川に親しむこと”を目的に整備された河川公園などの施設があります。安全に利用していただくため、点検が必要です。

水辺の利用者が増加する大型連休前と夏休み前、手取川出張所、小松出張所、事務所職員、自治体職員合同による点検を毎年、実施しています。

## ◇利用状況

手取川：野球、サッカー、ゲートボール、散歩、魚釣りなど  
梯川：レガッタ、ゲートボール、散歩、魚釣りなど

## ◇実施結果

ゴールデンウィーク前：平成30年4月10日 参加者26名  
夏休み前：平成30年6月29日 参加者12名



階段護岸の点検（手取川右岸2.5km付近）



親水護岸の点検（梯川左岸2.0km付近）



転落防止柵（木製）破損状況  
（梯川左岸2.2km付近）



転落防止柵（木製）破損状況



転落防止柵（木製）修繕後

# 1-4 出水期前の堤防点検 ～ 職員による河川点検を実施 ～

出水期前に“職員による河川合同点検”を実施します。堤防点検業務の成果と現地を見比べながら、堤防や護岸等に異常がないか確認をします。

問題を発見した場合、対応（補修、監視継続）の有無について、手取川出張所、小松出張所と協議をします。

## ◇実施結果

手取川 : 平成30年6月12日実施 参加者 9名  
点検 5箇所  
梯川 : 平成30年6月12日実施 参加者 9名  
点検 7箇所

### 【手取川】 管理延長：17.3km



護床ブロック沈下(左岸3.6km付近)



護岸天端の沈下(右岸9.8km)



根固めブロックの変状(右岸15.0km付近)

### 【梯川】 管理延長：12.4km



堤防法面の不陸(河口付近)



矢板護岸背面の状況(右岸0.8km付近)



坂路路肩のクラック(左岸8.5km付近)

# 1-5 許可工作物 立入検査 ～ 許可施設、工事中の施設を検査 ～

河川区域内の許可工作物（橋梁、取水施設、発電用ダム等）は、河川法第78条に基づき、河川管理者が立ち入り検査を随時行っています。

河川内の工事は、仮設物（仮締め切り等）が大規模になります。申請図面通りの構造（土砂、大型土のう、矢板等）で作られているか、確認をしています。

## ◇主な施設点検

吉野谷取水ダム（北陸電力株）	平成30年11月19日
白山頭首工（農水省）	平成30年12月 4日
手取川新幹線橋梁（鉄道運輸機構）	平成30年12月19日
梯川新幹線橋梁（鉄道運輸機構）	平成30年12月19日
能美大橋（石川県県から受託工事）	平成30年12月19日
コノ下樋管（土地改良区から受託工事）	平成30年12月19日

【手取川】 管理延長：17.3km



新幹線橋梁(2.5km付近)



白山頭首工(右岸16.7km付近)



吉野谷取水ダム(白山市吉野谷)

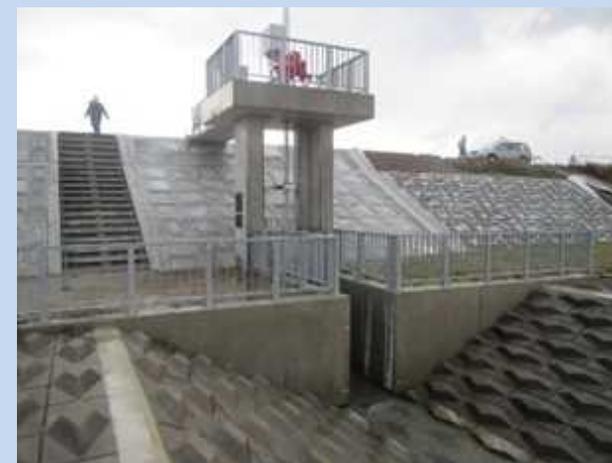
【梯川】 管理延長：12.4km



新幹線橋梁(左岸3.6km付近)



能美大橋(左岸7.0km付近)



コノ下樋管(右岸8.0km付近)

# 1-6 雨量・水位観測所点検 ～ 出水期前、機器の動作チェック～

出水期（6月15日～9月30日）に入る前に、職員による雨量計、水位計の動作確認をしています。

観測データは、テレメーター（無線）や光回線で事務所へ送信されます。洪水予測、水防団の出動や住民避難等を判断するための重要な情報です。

## ◇実施結果

手取川下流域・尾添川流域：平成30年6月7日  
点検16箇所 参加者 5名  
手取川ダム・手取川上流域：平成30年6月13日  
点検15箇所 参加者10名  
梯川流域：平成30年 6月11日  
点検21箇所 参加者 8名

## 【手取川流域】 水位計 19 箇所、雨量計 12 箇所、その他16か所



鶴来水位観測所（右岸14.2km付近）



鶴来水位観測所内部



内尾雨量観測所



内尾雨量観測所全景

## 【梯川流域】 水位計 15 箇所、雨量計 5 箇所、その他 1 箇所



埴田水位観測所（右岸9.9km付近）



埴田水位観測所内部



中海雨量観測所



中海雨量観測所点検状況

# 1-7 堤防除草 ～年に2回、草刈りをします～

堤防の亀裂や陥没等の早期発見、出水時の水防活動が容易にできるよう、年に2回、堤防の草刈り（除草）を実施しています。

肩掛け式、ハンドガイド式草刈り機（自走）、ラジコン式草刈り機（遠隔操作）を使用し、効率的に作業をしています。刈った草は、集めて（集草）処分しています。

## ◇実施状況

手取川（除草対象面積： 97万㎡）  
2回（平成30年4～6月、平成30年7～9月）

梯川（除草対象面積： 58万㎡）  
2回（平成30年4～6月、平成30年7～9月）

### 【手取川】 管理延長：17.3km



肩掛け式(人力)



ハンドガイド式草刈り機(自走)



ラジコン式草刈り機(遠隔操作)

### 【梯川】 管理延長：12.4km



ハンドガイド式草刈り機(自走)



人力による集草作業



ゴミ運搬車へ積み込み

# 1-8 河道内樹木伐採 ～洪水時、支障となる樹木の対策～

河道内に繁茂する樹木は成長すると、洪水時に水の流れを阻害します。計画的な伐採が必要です。伐採した樹木は、資源の有効活用、処分費軽減のため、住民の方に無償配布しています。

◇平成30年度 伐採範囲  
手取川 左岸3.8～4.0km 他4箇所 42,000㎡  
伐採量 49.6 t  
梯川 左岸1.2km付近 300㎡  
伐採量 1.5 t

## 【手取川】 管理延長：17.3km



## 【梯川】 管理延長：12.4km



# 1-9 樹木の伐採希望者を公募 ～ 希望者自ら伐採ができます～

金沢河川国道事務所では、平成29年から毎年、希望者を公募し、手取川河川敷の樹木伐採を許可しています。

河川敷には、ハリエンジュ（ニセアカシア）やヤナギなど成長が早い樹木が多く、広範囲に繁茂します。問題は、伐採費用と処分費用の節減です。

## ◇平成30年度 実施結果

募集期間 平成30年10月29日～11月30日

伐採期間 平成30年11月12日～ 3月18日

応募者 17人

伐採面積 6,000㎡

その他 伐採前後に職員が立ち会っています

## 【手取川】 管理延長：17.3km



## ■作業状況



# 1-10 伐採木を無償配布 ～ 薪など自家消費される個人の方を対象～

手取川に繁茂する樹木は、洪水時に流れを妨げます。河川巡視の支障にもなるため、計画的な伐採をします。処分費の節減と資源の有効利用を目的に、手取川の伐採木を地域の皆様に無償で提供します。今年度から、葉書で事前申し込みに変更しました。

◇平成30年度 手取川伐採木無償配布  
配布日時 平成31年3月10日(日) 9:00～12:00  
配布場所 当選者に封書で通知  
応募者 32名  
提供木・量 ハリエンジュなどの雑木。約10t。  
(1家族につき、軽トラック1台分相当)  
その他 周知は、ホームページのみ。



平成30年度 配布状況



平成30年度 配布状況



平成30年度 配布状況



平成30年度 配布状況

## ■ 提供木準備



提供木・伐採状況



提供木・準備状況

## 2. 水防演習・訓練

# 2-1 洪水対応演習 ～いざというとき、迅速に情報を伝えるために～

河川担当職員は洪水時に迅速な対応がとれるよう、机上訓練を毎年、実施しています。雨量、水位、カメラ映像、現場状況から、的確な判断や情報伝達ができるよう訓練をします。

砂防（手取川上流域の土砂災害）や海岸（石川海岸の高波災害）の訓練も同時に行っています。

## ◇平成30年度 実施結果

洪水対応演習（河川、砂防、海岸）平成30年4月24日実施  
 金沢河川国道事務所参加者 36名  
 参加機関：石川県、小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町、北陸電力(株)、電源開発(株)、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所（全10機関）

### 【訓練状況】



担当者による報告

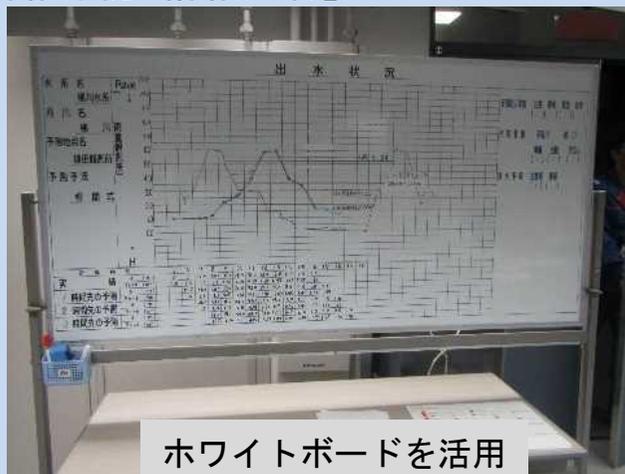


現地からの情報を支部長へ説明



ホワイトボードに記入

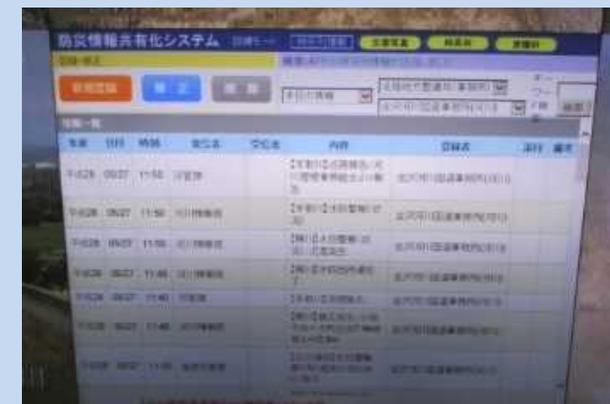
### 【情報確認・情報共有】



ホワイトボードを活用



マルチモニタで映像確認(情報共有)



情報共有システム(国土交通省イントラ)

# 2-2 手取川・梯川総合水防演習 ～ 昭和9年大水害の記憶を次世代に ～

目的：想定最大規模の浸水に対して、地域が一体となった水防活動の重要性を認識する。水防機関の士気の高揚と水防技術の向上、水防災意識社会の再構築を図る。

特色：演習状況はインターネットでライブ配信。SNS（ツイッター）「河川情報室@金沢河川国道」を新設。

## ◇実施結果

日時 平成30年5月26日(土) 8:30～12:30

場所 石川県能美郡川北町与九郎島地先

主催 川北町、石川県、国土交通省 北陸地方整備局

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

参加機関 川北町消防団、6市3町消防団 他53団体

参加者 約2,000名



水防工法(木流し工)



水防工法(月の輪工)



水防工法(川倉工)



体験コーナー(小学生による土のう作り)



水没車両救助訓練



炊き出し訓練

# 2-3 災害対策車、排水機場の訓練 ～その日に備えて、日頃から～

浸水被害に備えて『排水ポンプ車・照明車の操作訓練』、  
『前川排水機場操作訓練』、『美川樋管操作訓練』を実施  
しています。

糸魚川大火（H28.12）後、小松市消防本部から要請を  
受け、排水ポンプ車を使った放水訓練も行いました。

## ◇実施結果

排水ポンプ車・照明車訓練 毎月1回

前川排水機場訓練 平成30年 4月16日 7名参加

美川樋管操作訓練 平成30年 6月 1日 7名参加

## ◇金沢市との合同訓練

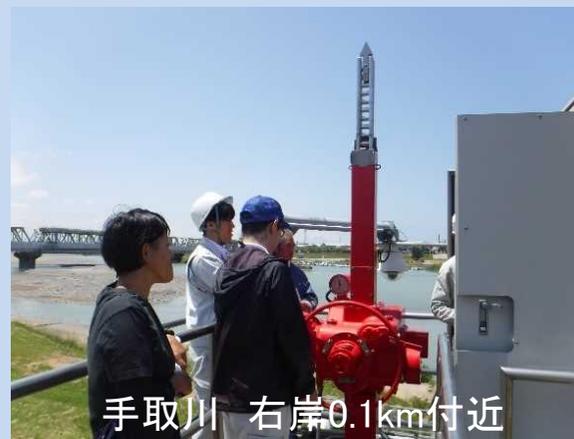
平成30年8月30日 金沢河川国道事務所から6名参加

### 【前川排水機場 操作訓練】



前川排水機場 左岸1.0km付近

### 【美川樋管 操作訓練】



手取川 右岸0.1km付近

### 【金沢市との合同訓練】



排水ポンプ車、照明車  
(各1台参加)

### 【災害対策車の訓練 手取川】



夜間訓練状況 右岸0.4km付近  
排水ポンプ車、照明車(各2台)

### 【災害対策車の訓練 手取川】



訓練状況 右岸0.4km付近  
排水ポンプ車(2台)

### 【小松市消防本部との合同訓練】 (平成29年6月6日)



筒先に連結金具でホース接続

# 2-4 水質事故対応訓練 ～ 有害物質流出事故（油が多い）に備える～

手取川水系、梯川水系で発生する水質事故に備え、初動対応の訓練を毎年10月頃に行っています。

水濁協※1主催により、事故状況ごとの対応方法、油吸着材の使用方法・留意点、オイルフェンス設置（維持業者）、油種の判別方法を学びます。

## ◇平成30年度 実施結果

実施日 平成30年10月29日(月) 14:00～16:00

実施場所 小松出張所、前川排水機場前

参加者 38名

※1 水濁協とは、手取川梯川水質汚濁対策連絡協議会のこと。  
石川県、小松市、能美市、白山市、野々市市、川北町、小松市消防本部、能美市消防本部、白山野々市広域消防本部他加盟



講義 事例、法令、油処理方法



オイルフェンス設置訓練（維持業者2社）

木杭打込 ⇒ ロープ渡し ⇒ 展張 ⇒ 固定 約15分



実演（外部講師）油吸着材の説明



実演（外部講師）  
オイルフェンス接続



オイルフェンスを斜めにして  
ポケットを作って油を回収。  
（油は流れていません）

### 3. 水質・環境保全

# 3-1 河川水質調査 ～ 毎月、採水して河川の水質を調べます ～

手取川 5地点、梯川 3地点、手取川ダム 10地点で水質調査をしています。基準値の超過がないか監視を続けています。白山水質自動観測所(白山市白山町)では、常時監視しています。結果は、事務所ホームページまたは川の防災情報で見ることができます。

### ◇水質調査項目

- ・環境項目 BOD、COD、SS、DO、大腸菌群数 他
- ・健康項目(年1回) カドミウム、シアン、PCB、水銀 他

### ◇水質基準値を超過した場合

石川県 環境政策課に報告をして、対応します。

## 【水質調査地点図】



● 白山水質自動観測所

## 【採水作業状況】



美川大橋 (河口から0.1km)

## 【採水作業状況】



手取川ダム (湖面)

## 【調査結果】



観測地点: 美川大橋

## 【調査結果】



観測地点: 石田橋

## 3-2 水生生物調査 ～小学生が川の多様性を実感、水質判定～

平成元年から毎年、実施しています。川の中に生息している水生昆虫（カワゲラ、カゲロウ、トビケラ等の幼虫）から、水質の状況を判定します。

調査を通じて、川に親しみ、川を理解し、川を守り、川をよくするきっかけになればと考えています。

### ◇平成30年度 実施結果

手取川 平成30年7月24日(火) 判定結果:きれいな水  
川北町 小学生 38名 猛暑のため中止  
(調査は、職員、委託業者で実施)  
梯川 平成30年8月27日(月) 判定結果:きれいな水  
小松市立中海小学校 24名(教諭1名含む)

### 【手取川】 右岸 2.2km付近



水生昆虫 採取状況生物調査



分類作業中



### 【梯川】 中海大橋下流 11km付近



採取箇所全景 ※中海大橋から下流方向



水生昆虫 採取状況



捕まえた“生物”を発表

# 3-3 河川清掃活動 ～ 地域の美化活動へ支援 ～

憩いの場として多くの人に利用される河川。ゴミのポイ捨てが後を絶ちません。河川美化には、地域住民のボランティアが必要です。

水濁協※1は、地域や団体が実施する『河川清掃』にゴミ袋を提供（支援）しています。

## ◇平成30年度 実施結果

手取川クリーン大作戦 平成30年7月14日(土) 雨天中止

主催:手取川クリーン大作戦実行委員会

こまつ水辺クリーンデー 平成30年9月 8日(土) 雨天中止

主催:梯川協議会

こまつ水辺クリーンデー 平成31年3月17日(日) 実施

主催:梯川協議会 参加人数904名

※1 水濁協とは、手取川梯川水質汚濁対策連絡協議会のこと。

### 【河川清掃(梯川)】



こまつ水辺クリーンデー H31.3.17撮影



こまつ水辺クリーンデー H31.3.17撮影

### 【河川清掃(手取川)】



手取川クリーン大作戦 H29.9.16

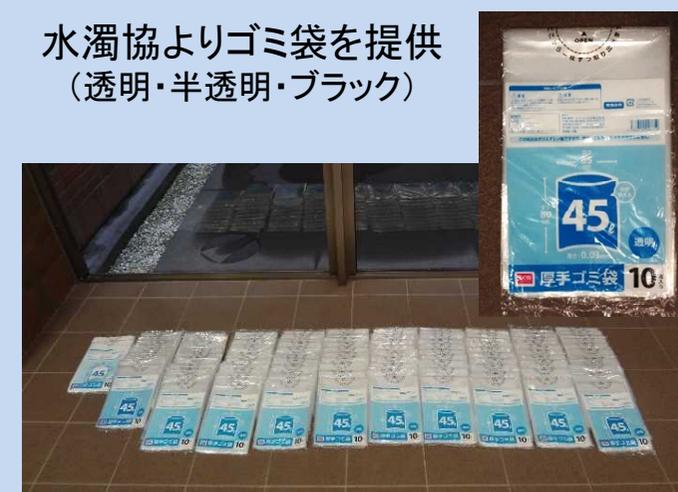


集積作業



積込作業

水濁協よりゴミ袋を提供  
(透明・半透明・ブラック)



# 3-4 河川ごみマップ公表 ～ ホームページで住民に周知 ～

河川敷へ不当に投棄されるゴミは減少傾向ですが、いまだに後を絶ちません。捨てられたゴミは景観を損ねるだけでなく、河川施設や生態系に悪影響を及ぼします。

河川毎に、ごみマップ（平成27～29年）を作成し金沢河川国道事務所ホームページで公表しています。平成31年1月、『広報 かけはしがわ』に掲載し、小松市内 全戸へ配布しました。

◇平成29年 不法投棄件数（合計297件）

手取川 167件（前年比 6件増）

梯川 130件（前年比 29件減）

◇平成29年 処分費

手取川 約109万円（前年比 17万円増）

梯川 約276万円（前年比 142万円増）

## 【不法投棄されているもの(代表例)】



タイヤ



家庭ゴミ



テレビ



冷蔵庫



自転車



畳(粗大ごみ)



外壁材(建築廃材)

## 【平成29年度 不法投棄 種別ランキング】

### 手取川

1位	家庭ごみ	(104件)	62.2%
2位	粗大ごみ	(25件)	15.0%
3位	タイヤ	(19件)	11.4%
4位	建設廃材	(16件)	9.6%
5位	家電製品	(3件)	1.8%

### 梯川

1位	家庭ごみ	(85件)	65.5%
2位	粗大ごみ	(28件)	21.5%
3位	タイヤ	(7件)	5.4%
4位	建設廃材	(5件)	3.8%
4位	家電製品	(5件)	3.8%

粗大ごみ：布団、畳、物干し竿など指定の袋に入らないゴミのこと

## 【手取川ごみマップ、梯川ごみマップ】



HPアドレス

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/gomi/index.html>

# 3-5 河川愛護モニター ～ 河川のサポーター、情報を寄せてください～

手取川、梯川の近くに住んでいる方から、川の様子や利用状況、川への思いを発信していただいています。いただいた意見は“個性を生かした川づくり”の参考にしています。  
河川愛護モニターの募集は、毎年4～5月頃です。

- ◇河川愛護モニター(平成30年7月～平成31年6月)  
手取川2名、梯川3名
- ◇主な活動内容
  - 1)河川に対する意見、活動報告(毎月)
  - 2)河川事業やイベントなどに対する感想・意見(随時)
  - 3)河川に関する情報提供(随時)

## 【河川愛護モニターの活動】



H30.3.23 (手取川)  
堤脚水路沿いの石垣の崩れ



H29.5.28 (手取川)  
アユ解禁後、堤防上の車が多い



H30.2.28 (梯川)  
大雪後、河床の土砂堆積が多い



H30.2.28 (梯川)  
大雪後、川岸の倒木が多い

## ■主な報告内容(平成30年度)

### 手取川

- ・河川施設の異常(構造物の損傷等)
- ・河川敷での催し(花火大会等)
- ・雑草や樹木の繁茂状況
- ・大雨に伴う濁水の状況

### 梯川

- ・河川施設の異常  
(堤防舗装や安全策等の状況)
- ・ゴミの不法投棄の有無
- ・雑草や樹木の繁茂状況
- ・河床の土砂堆積状況
- ・河川工事現場の安全対策状況
- ・河川敷での催し  
(レガッタ競技等)
- ・進入禁止区域の釣り人の有無

# 3-6 河川協力団体の活動 ～ 地域の団体や住民の清掃活動を支援 ～

地域団体や住民が主体となり、河川の清掃を毎年、実施しています。河川美化と環境保全活動を通して、“川”が憩いの場所になればと考えています。

手取川梯川水質汚濁対策連絡協議会では、梯川ごみ拾いにゴミ袋の支援を行っています。

## ◇河川協力団体の指定

河川美化活動に取り組む『梯川協議会』は、平成30年3月に河川協力団体に指定されました。

北陸地方整備局管内では19団体目、石川県内で初めて指定されました。

### 【平成30年度の活動】



### 【平成31年度の活動】



# 3-7 多くの方に川をPR ~ イベント開催、積極的に参加 ~

地域住民の皆さんに川への理解を深めていただくため、イベント開催等の活動を行っています。梯川では、市民・企業・行政が一体となった“ミズベリングプロジェクト”を実施中です。

## アウトドア教室 (8月10日(金)開催)

手取川の上流部で実施。白山市・能美市・小松市・野々市市・川北町の児童50名が参加しました。砂防事業についての勉強や手取川ダムの見学、“マイ・タイムライン”作成による水防学習を行いました。



土石流模型実験 (白山砂防科学館)

水防学習 (吉野工芸の里)

## 水辺で乾杯 (8月9日(木)開催)

水辺の新たな活用を創造していくプロジェクト『ミズベリング』の一環として、平成30年に河川協力団体に指定された梯川協議会の呼びかけにより、梯川では初めて開催されたイベントでした。

平成30年度は、梯川分水路 (小松天満宮の外周) を会場とし、「梯川の夢を語り合おう!」をテーマに、市民、企業、行政など約100人が参加しました。



## ミズベリング(MIZUBERING)とは

水辺の未来を創る人が集い共に動き出すためのプロジェクト。

市民、企業、行政がひとつになって水辺の未来に向かってここから動き出します。

## 小松市民レガッタ大会

毎年職員チームが参加してきたイベントですが、平成30年度は残念ながら工事のため中止となりました(写真は昨年度のものです)。



# 3-8 重点的撤去区域

～無許可係留船、工作物が強制撤去可能に～

当事務所が管理する梯川では、プレジャーボートの無許可係留が続いています。現在、暫定係留施設として、2022年までに恒久施設の整備をすることを条件に10年の占用を認めています。

船舶は、適正に管理されないと、洪水時に流されて、橋や水門などに損傷を与える恐れがあります。

◇梯川 重点的撤去区域 : 河口～3.2 km

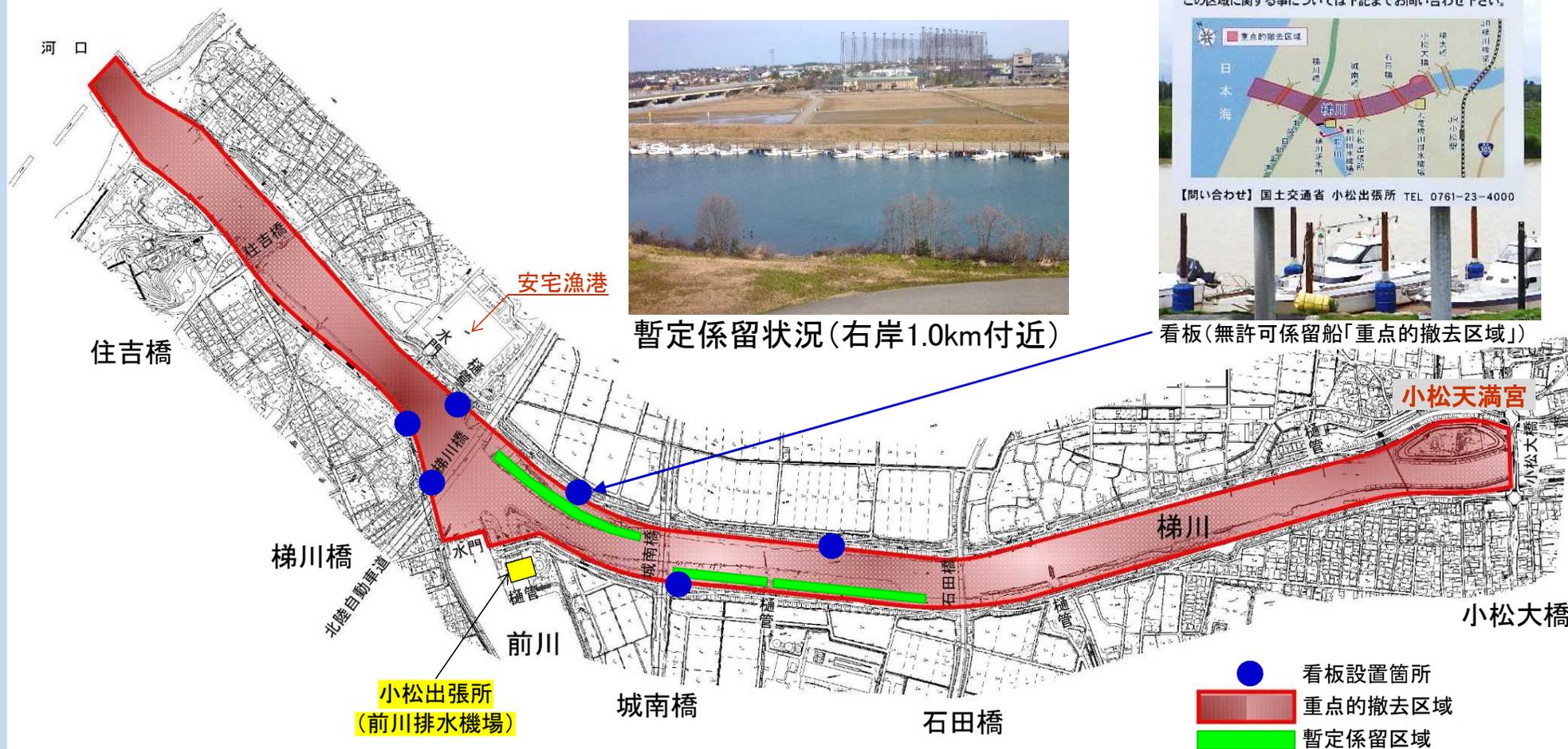
◇暫定係留施設

許可期間 2013年8月2日～2022年9月30日

平成30年 暫定係留船舶数 113隻

(参考) 平成22年度 不法係留 156隻

## 重点的撤去区域設定図 (指定時期：平成30年6月1日)



暫定係留状況(右岸1.0km付近)

このエリアは、無許可係留船「重点的撤去区域」です。許可された場所以外の、係留及び係留施設の設置は認めていません。許可なしに設置、係留した場合は強制的に撤去いたします。この区域に関する事については下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ】国土交通省 小松出張所 TEL 0761-23-4000

看板(無許可係留船「重点的撤去区域」)